

研究実施のお知らせ

2022年3月1日 ver.3.0

研究課題名

本邦における外傷手術の実態調査研究

研究の対象となる方

本邦において2011年1月から2016年12月の間に外傷手術を受けられた方

研究の目的・意義

本研究は、NCD(National Clinical Database)を用いた本邦における外傷手術の実態調査を行う観察研究です。本研究の目的は、外傷手術術式の標準化と質の向上について考察することです。研究結果は今後の外傷専門診療の改良などにも大きく寄与するものと考えられます。NCDは、日本全国の手術・治療情報を登録し、集計・分析することで医療の質の向上に役立て、患者さんに最善の医療を提供することを目指すプロジェクトです。

研究の方法

本研究はNCDの過去のデータを使用する観察研究です。術式、術中出血量、術中輸液量、術中輸血量、術後有害事象の有無、退院時転帰などを中心に観察します。研究のために新たな検査や治療が発生することはありません。また、患者様への謝礼などもありません。すでに個人が特定されないように匿名化されたデータを利用します。

研究の期間

2019年12月～2023年3月

研究組織

この研究は次の機関が参加して行います。

- ・ 研究代表者（研究で利用する情報の管理責任者）：島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座/島根大学医学部附属病院高度外傷センター 下条芳秀
- ・ 情報提供機関：一般社団法人 National Clinical Database 岩中督

情報の利用停止

本研究は過去に NCD に登録され、すでに匿名化されたデータを用います。利用停止希望のお申し出があっても、登録された内容から患者様のデータを特定する事はできないため情報を削除できない場合があります。なお、データを登録されたくない場合または登録されたご自身のデータの閲覧や削除を希望される場合は、治療を受けた施設へ問い合わせしていただきますようお願いいたします。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをご知りになりたい方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究代表者：

島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座

島根大学医学部附属病院高度外傷センター

下条芳秀

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2757 FAX 0853-20-2753